

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2022年							2023年							2024年	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	67	75	49	29	47	43	65	0 (3)	6
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	108	102	56	52	49	80	102	2 (2)	12
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	13	25	6	12	15	6	9	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	8	12	15	18	21	18	16	0 (2)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	11	11	9	5	9	16	0 (3)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	4	8	2	1	0	2	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4	1	5

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第2週(1月8日~1月14日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	0	結核	0							
三類	0	発生なし	0							
四類	3	レジオネラ症	3		1			2		
五類	13	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1	
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1				1			
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		侵袭性肺炎球菌感染症	2					1		1
		播種性クリプトコックス症	1					1		
		百日咳	1			1				
梅毒	6				1		1		4	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 6年2週(1月8日～1月14日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり9.34人の報告がありました。例年、冬休みが終わり学校が始まると流行が拡大する傾向があり注意が必要です。

また、市内2か所の協力医療機関における迅速診断キットの検査結果では、第2週はA型陽性87件、B型陽性12件でB型が12%を占めていました。第1週までの今シーズンの累計は、A型陽性3,266件、B型陽性27件となっており、B型の割合が増加しています。

手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

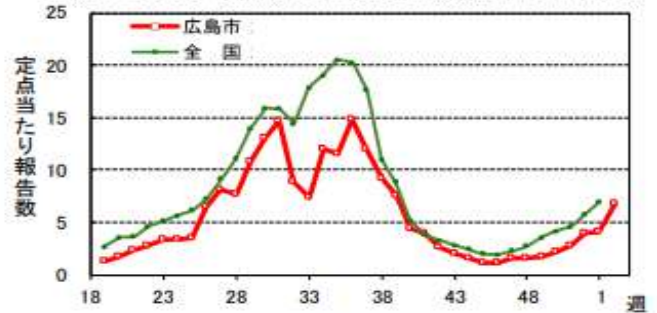
2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり6.77人の報告があり、増加が続いています。手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり6.26人の報告がありました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況(2023～2024年)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね				
インフル	インフルエンザ	327	9.34	9.69		小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.06		↑	↑	↑	↑	1:2以上の増減				
	新型コロナ(COVID-19)	237	6.77				流行性耳下腺炎	1	0.04	0.07						↑	↑	↑	↑	前週と比較しておおむね
小児科	RSウイルス感染症	-	-	0.34		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		↓	↓	↓	↓	前週と比較しておおむね				
	咽頭結膜熱	57	2.48	0.24			流行性角結膜炎	11	1.38	0.43						↓	↓	↓	↓	1:1.5～2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.52	1.10		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		↔	↔	↔	↔	前週と比較しておおむね				
	感染性胃腸炎	144	6.26	7.25			無菌性髄膜炎	-	-	-						↔	↔	↔	↔	1:1.1～1.5の増減
	水痘	5	0.22	0.32			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06						↔	↔	↔	↔	ほとんど増減なし
	手足口病	5	0.22	0.24			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						↔	↔	↔	↔	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.22			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06						↔	↔	↔	↔	
	突発性発しん	2	0.09	0.23																

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第1週)は、年末年始の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、今週(第2週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	2	2	50歳代、50歳代・市外
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	50歳代
5	梅毒	1	1	60歳代
5	播種性クリプトコックス症	1	1	80歳代